

## 平成25年山武市教育委員会第7回定例会会議録

1. 期 日 平成25年7月18日(木)
2. 場 所 山武市役所第5会議室
3. 開 会 午後1時25分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義  
委員長職務代理者 高橋 尚子  
委 員 京相 光徳  
委 員 小野崎 一男  
委 員 嘉瀬 尚男  
教育長 金田 重興

5. 欠席委員 なし

6. 議場に出席した職員の職及び氏名

教育部長	渡邊 聰
教育総務課長	小川 宏治
学校教育課長	鵜澤 政仁
学校教育課指導室長	齊田 謙一
生涯学習課長	土井 紀子
スポーツ振興課長	川島 勝喜
公民館長	市原 修
文化会館長	江澤 正
図書館長	宮負 勲
学校給食センター所長	小堀 英信
さんぶの森公園管理事務所長	齊藤 榮一
子育て支援課児童家庭係長	松本 清
事務局	
教育総務課総務企画係長	秋葉 一徳
教育総務課総務企画係	篠原 正洋

開会 委員長が挨拶し午後1時25分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、嘉瀬委員を指名する。

## 日程第2 ○会議録の承認

第6回定例教育委員会の会議録、第2回教育委員会臨時会の会議録を全員異議なく承認。

## 日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、6月20日から7月18日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

6月20日 行政組合教育委員会が行われ、行政組合教育委員会の事務の点検評価について説明を受けた。ほぼ順調で問題はなかった。

同日、第1回教科用図書採択会議が行われ、協議会の設立と日程が決まった。

21日 市議会定例会が閉会し議会全員協議会が開かれ、山武市教育委員会に関わる問題について報告をしたところである。

25日 指導室訪問が蓮沼中で行われた。大変高い評価をいただいたと思っている。特に感心したのは、社会科の授業が大変素晴らしいものであった。江戸時代の産業についての授業だったが、蓮沼地域に置き換えて教材が整えられていたので、子どもたちも大変興味をそそり、また、分かりやすい授業であったと思う。今後いろいろな学校に訪問する訳だが、こういった子どもたちの関心をそそる、子どもたちの生活、地域に関連付ける授業が必要だと思ったところである。

27日 歴史民俗資料館友の会の佐々木会長以下役員の方々が来庁された。内容としては、資料館が大変老朽化をしていることから、資料館の建設について検討して欲しいという要望であった。事務局としてはこの要望は妥当で、計画に載せたいと考えているが、今後は教育委員会でも検討、協議をお願いしたいと考えている。

28日 指導室訪問が山武北小で行われた。昨年大変不安定な状態があり、また、今年度の入学式の様子を見ても心配していた訳だが、数カ月で落ち着きを取り戻しており、安堵したところである。

同日午後、都市教育長会議が行われ、教育三団体による県に対する要望事項の協議を行った。

7月 2日 臨時校長会議を招集した。先に我々教育委員会も協議をした案件を踏まえて、学期末に向けての危機管理研修という内容で行った。

4日 教育委員会事務の点検・評価ということで、学識経験者の知見をいただいた。

同日、第2回の臨時教育委員会を行った。

5日 昨年県の教育長に就任した瀧本教育長が来訪された。公室において市長を交えて懇談した後、松尾高校、松尾中学校を視察していただいた。この時、松尾中学校も大変落ち着いており、何ら恥ずかしいところはなく安心をしたところである。

8日 成東中の不祥事について保護者集会が開かれた。教育委員会も同席をし、私か

らも挨拶を述べさせていただいたところである。

12日 校長会議が開かれた。特に不祥事根絶ということで話をさせていただいた。

同日夜に、少年海外派遣研修団の結団式が行われた。ご承知のことだが団長に当委員会の嘉瀬委員、副団長に南中の小高校長が随行することになっている。

16日 第2回教科用図書採択会議が行われ、平成26年度に使用する9条本について協議をし、全て採択承認をいただいた。詳細は後程報告する。

委員長：協議第1号「要保護・準要保護の認定について」及び報告第1号「平成25年第2回教育委員会臨時会協議事項の経過報告について」は公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。

（「異議なし」の声）

#### 日程第4 ○協議事項

協議第1号 要保護及び準要保護の認定について

学校教育課長：新規6世帯12名について説明。

※6世帯12名について認定。

#### 日程第5 ○報告事項

報告第1号 平成25年度第2回教育委員会臨時会協議事項の経過報告について

学校教育課長：資料に基づき、臨時会協議事項の経過について報告。

報告第2号 平成26年度教科用図書の採択について

教育長：7月16日に山武教育会館にて第2回の協議会が開かれた。協議会での資料について配布させていただいているが、本年度は5冊の9条本について協議を行った。まず、専門調査員の説明を受けた後に委員の方から質問を受け、その後この5冊を閲覧して、一冊ずつ採択か不採択かを挙手にて採決を行った。その結果全ての新刊が採択された。協議会としての採択は成されたが、山武採択地区の6市町の教育委員会の採択承認を以って正式な採択となる。当山武市教育委員会は代表の採択委員として、教育長の専決承認が認められている訳だが、本日改めて報告させていただくと同時に、採択の承認をお願いしたいと思う。なお、協議会には地教委連協の代表委員として五木田委員長も同席されておりますので、何かご意見、補足等あればお願いします。

五木田委員長：資料にある12の観点について、合致しているということの認識のうえで、挙手による採択を行っている。多少高価な本もあったが、それは学校内の裁量で使うか使わないかは、子どもの実態もあるが私は何ら問題ないと思って賛成

をしたところである。問題がなければ承認をいただければと思うがいかがか。

教育長：補足させていただく。その他で意見交換があった訳だが、協議会においてせっかく良い本を選定、採択しても実際の需要はわずかである。資料に示してあるように平成24年度は山武地区59校ある訳だが、4校で、しかも小学校7冊、中学校2冊の9冊しか利用されていない。平成25年度は1校増えて5校、冊数は若干増えたが14冊ということである。何故このように利用が少ないのかというその大きな要因は有償ということである。普通学級に通っているお子さんを含めて、子どもたちには無償で教科書が配布される訳だが、この9条本については有償になる。どちらかを選択しなければならないが、支援学級に通っているお子さんの保護者にとっては、普通学級の子どもたちと同じような本を与えたいというような思いがある。それに加えて新たに有償というところまでにはいっていない。でも、このままで果たしていいのかという疑問を、私を含めて多くの委員が抱いているところである。今後検討が必要ではないか、何か新しい手立てはないのかということと考えられることは、改めてこうして市町村教委で協議をして、市として予算化、これは今までできなかったがこれを市として予算化するとか、全員の子どもたちには無理ということであれば、学校図書として購入するとか、図書館として購入して利用するというようなことが考えられるだろうということで、私は山武市教育委員会においては、この件について問題提起をしたいと思うと答えてきたので、ご意見がいただければありがたいと思う。

五木田委員長：学校現場でも図書とかで、個人に負担させないでやっていると思うがどうか。

学校教育課指導室長：現状は調べていないので分からない。

五木田委員長：学校で図書として、教師用の指導書も高価であり予算化されてその中に入っているかもしれないが、各学校の実情で工夫しながらやっていると思う。教育長の話のようなことを現にやっているところもある。

教育長：委員長から補足のとおり、そういう風にやっている学校、教育委員会もあるかと思うが、改めて現場の実状を調べる必要あると思う。校長会代表の委員さん方もいたのでそれを皆で確認した。そういうことで、来年度に向けて山武市はどうしようかの詳細が分かりしだい、再度ご意見をいただきたいと思います。

五木田委員長：山武市教育委員会は、協議会の採択について賛成としてよろしいか。  
(「異議なし」の声)

#### 報告第3号 山武市公共施設予約システムについて

スポーツ振興課長：資料に基づき、公共システム予約システムの概要、業務のフロー、ネットワーク接続、予約システムの対象施設、システム構築業者の募集内容、業

務内容等について説明。

嘉瀬委員：このシステムの実際の運用開始はいつごろの予定か。

スポーツ振興課長：平成26年1月から3月まで試験稼働を行い、平成26年4月から運用を開始する。

小野崎委員：このシステムは金額的にどのくらいでできると想定しているのか。

スポーツ振興課長：構築委託料として約1,300万円、賃借料として試験運用の3カ月分として約110万円を想定している。

#### 報告第4号 千葉県防災キャンプ「生活体験学校」実施要綱(案)について

生涯学習課長：資料に基づき、千葉県防災キャンプ「生活体験学校」の実施要綱(案)について説明。実施要綱は案となっているが、子どもたちの募集は既に行っている。開催期日は8月19日(月)から25日(日)の6泊7日、会場は蓮沼スポーツプラザ及び蓮沼中央会館として実施する。対象は小学5年生から中学3年生までの40名を募集している。募集の締め切りを7月10日として、小中学校へポスターの掲示、募集のチラシの配布を行ったところだが、本日現在の申込者数は21名である。現在、校長校や子ども会、市役所職員などを通じて再度チラシを配布し、これについては7月19日までの締め切りとしている。

高橋委員：申し込みの状況として蓮沼小の状況はどうか。

生涯学習課長：蓮沼小は3名、蓮沼中は2名からの申し込みとなっている。

高橋委員：できれば海岸地域の小学校からは多く参加していただきたい。

五木田委員長：親元を離れて生活することは貴重な体験でいい機会になると思う。

#### 報告第5号 市内小・中学校等運動会、体育祭への出席者について

学校教育課長：資料に基づき、2学期(9月7日から10月12日まで)の市内小・中学校等の運動会、体育祭の日程を説明し、各委員の出席校について確認を行った。

※各委員の出席校については以下のとおりとなった。

9月 7日 成東東中（高橋委員）、松尾中（小野崎委員）、蓮沼中（五木田委員長）

9月14日 山武中（嘉瀬委員）、山武南中（京相委員）

9月21日 松尾小（小野崎委員）

9月28日 成東小（教育長）、緑海小（五木田委員長）、鳴浜小（高橋委員）、睦岡小（嘉瀬委員）、山武西小（京相委員）、大平小（小野崎委員）

10月 5日 日向幼稚園（京相委員）、むつみのおか幼稚園（嘉瀬委員）、なるとうこど

も園（教育長）、なんごうこども園（高橋委員）、まつおこども園（五木田委員長）、おおひらこども園（小野崎委員）

10月12日 しらはたこども園（高橋委員）

※都合がつかなくなった場合は、委員の中で交代を行うこととする。

#### 報告第6号 少年海外派遣事業学校別参加数について

生涯学習課長：資料に基づき、少年海外派遣事業の学校別参加者数について報告。審査の結果15名が決定した。7月12日に派遣団の結団式と第1回の事前研修会を行っている。今回は高校生の応募はなかった。結果として中学3年生が1名、中学2年生が14名で、6中学校から1名以上の参加ということになった。団長に嘉瀬委員、随行者として山武南中学校長が参加する。

五木田委員長：団長の嘉瀬委員については大変とは思いますがよろしく願います。

京相委員：燃料サーチャージ料など負担金はどうなったか。

生涯学習課長：負担金10万円に1万円を加えた11万円の負担金となった。

#### 報告第7号 平成25年度こども園・幼稚園職員研修内容及び各園参加者数について

子育て支援課児童家庭係長：資料に基づき、こども園・幼稚園職員の研修内容及び各園の参加者数について報告。研修の計画については前回の定例会で報告させていただいているが、今回は各園からの参加者の状況を一覧にしてお示しさせていただいた。参加者の延べ数は563名である。現在、こども園、幼稚園では休職者等を除き、正規職員と臨時職員を合わせ約150名の保育士、教員の方が、保育・教育にあたっているが、平均すると一人約3回以上の研修参加の予定になっている。保育時間等を考慮して開始時間はほとんど午後3時を設定しているが、こども園の長児部については、まだ在園している時間帯であり、これについては若干の課題が残っているという現状である。しかしながら、本人の希望と、園長等が研修参加を積極的に促し調整した結果、多くの方が参加できるようになっている。また、臨時職員の参加も各回で見られるということから、成果は上がっていると考えられる。8月3日開催の研修については参加者数が113名ということで突出している。土曜日開催ということもあるが、研修の内容が“指導案の意義と実際の書き方”という内容で、やはり保育・教育の中で役に立つというところで希望者が増えているのではと推測している。こういったものを一時的、一過性で終わることなく、各園で研修の内容を活かしていければと指導室の方でも考えている。今年度の研修を1年間通してやっていく中では、充実した内容になるようまた次回等に準備を進めながら考慮していきたいと考えている。

高橋委員：研修の内容はいいと思う。別の話になるが、2園のこども園が新しくできて、1学期が終わろうとしているが、保護者等へ園で不具合があるところとか、こども園に入ってこういうところが良かったとか、そういうアンケートのようなものを実施する予定はあるのか。こども園ができてその後の経過というか、建物は建てたけど内容はどうかということを一回みてみたらと思う。なるとうこども園ではそれまでの幼稚園と保育園の保護者の関係、しらはたこども園ではこれまでの4園の保護者の関係など、先生方から見たアンケートと保護者から見たアンケートの結果を知りたいと思うがどうか。

五木田委員長：保護者からと教員からの園の教育評価について、知りたいので幼保こども園室長に確認をお願いします。

子育て支援課児童家庭係長：その件については室長に申し伝える。

嘉瀬委員：研修についてはたくさんプログラムが組まれているが、こども園化にあたっては、短児部先生と長児部先生、それぞれ幼保の先生の認識の差があったと思うが、これらの研修を通してその辺の意識の共通化が、実際のところうまく融合できているのか。

子育て支援課児童家庭係長：直接の担当ではないので不確かな回答となってしまいが、この研修会それ以前の準備段階などから、幼稚園の教諭なり保育所の保育士がコミュニケーションをとって、その辺の差の解消というものには特段に努めているということで進められている。先程、高橋委員からもお話があったとおり、実際に始めてみて、どういう差があるかなどのアンケートを取っていないので、現状がどうなのかは分からないが、できるだけそういった差がないような形で、意識を共通してやっていただくように配慮していると伺っている。

#### 報告第8号 夏季休業中における学童クラブの運営について

子育て支援課児童家庭係長：資料に基づき、夏季休業中における学童クラブの運営について報告。学童クラブについては、7月22日から8月31日までの夏季休業中を夏休み学童として通常の変更(午前8時から午後6時30分まで)し、指導員を増員して実施する。ただし、8月13日から15日は通常の土曜学童と同様に、南郷、睦岡、大平の各学童クラブでの合同実施となる。なお、夏季休業中の学童クラブ入所者についてはほぼ定員に近い利用状況となっている。指導員については概ね10名のお子さんに対して1名の指導員という割合で充てている。また、障がいがある療育手帳をもっているお子さんが数名いるが、そういうところへは人数割りより少し多めに加配して対応する体制をとっている。

五木田委員長：指導員の増員についてはこれから確保するのか。

子育て支援課児童家庭係長：指導員の確保については既に面接等も終わっており、各クラブの配置についても終わっている。

嘉瀬委員：夏季休業中の運営ということで、7月22日から8月31日となっているが、この間については特に休みはないのか。

子育て支援課児童家庭係長：日曜日については学童クラブ自体が休みになる。

嘉瀬委員：土曜日はどうなのか。

子育て支援課児童家庭係長：土曜日はお盆期間と同様に、通常の土曜学童と同じ対応になる。

五木田委員長：夏季休業中の利用料はいくらかかるのか。

子育て支援課児童家庭係長：通常は7,000円であるが、8月については8,000円である。

#### 報告第9号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長：平成25年6月1日から6月30日までに承認した、2件の後援について報告。

#### 報告第10号 8月の行事予定について

教育総務課長：教育総務課の8月の行事予定について報告。

学校教育課長：学校教育課の8月の行事予定について報告。

生涯学習課長：生涯学習課の8月の行事予定について報告。

スポーツ振興課長：スポーツ振興課の8月の行事予定について報告。

文化会館長：文化会館の8月の行事予定について報告。

公民館長：公民館の8月の行事予定について報告。

図書館長：図書館の8月の行事予定について報告。

#### その他（発言順に大要を記載）

- さんぶの森公園管理事務所長：9月29日に開催の収穫祭について報告。
- 給食センター所長：本日(18日)で1学期の給食が終了したことを報告。
- 学校教育課長：教育委員会ジャーナルについて報告。
- 教育総務課長：みんなで考える学校のあり方に関するアンケート結果を報告。

#### 7. 閉会 午後3時10分